

概況(図1,表1)

4月7・10・11日に房総丸(110ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮は遠州灘沖 33°20'Nを東進した後、三宅島を通過した。房総沖では33°10'Nまで南下した後、142°Eを北上していた。野島崎南東沖の黒潮は「かなり離岸」していた。流型はD型であった。

水温(表2,図2・3・5)

海面では12~18台,100m深では13~16台,200m深では11~14台であった。外房海域と銚子・九十九里海域では概ね「平年並」であったが、銚子・九十九里海域の50m深では、「やや高め」であった。海面では太東岬沿岸域を中心に正偏差が卓越していた。犬吠埼周辺では海面の等温線が密であった。

塩分(図4・5)

海面では33.9~34.8台,100m深では34.5~34.7台,200m深では34.3~34.5台であった。水温と同様に犬吠埼周辺では海面の等値線が密であった。野島崎南東と太東岬南東定線では、水深300~700m付近は34.3以下であり、野島崎南東30マイル付近では34.0台がみられた。

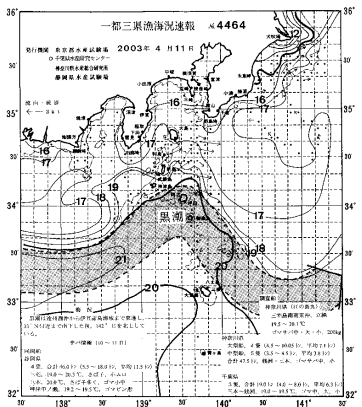


図1 一都三県漁海況速報

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2003年4月)

基点・方向	距離(マイル)	階級
野島崎・南東	(93)	かなり離岸
太東岬・南東	(77)	平年並
犬吠埼・南東	(57)	平年並

* (数字)は海洋速報(海上保安庁水路部)より

表2 水温の評価(2003年4月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	17.47	0.39	平年並	16.33	0.58	平年並
50	16.57	0.65	平年並	17.24	1.64	やや高め
100	15.38	0.28	平年並	15.51	1.44	平年並
200	12.68	-0.25	平年並	12.81	0.65	平年並

*水温は各海域の評価点の平均値

流況(図1・2)

概ね1ノット未満の流れであったが、犬吠埼南東沖で比較的流程が大きかった。流向は銚子・九十九里海域では概ね北東へ、外房海域では、概ね南へ流れた。これは犬吠埼沖から17台(海面)の水帯が差し込んでいたことによると考えられる。

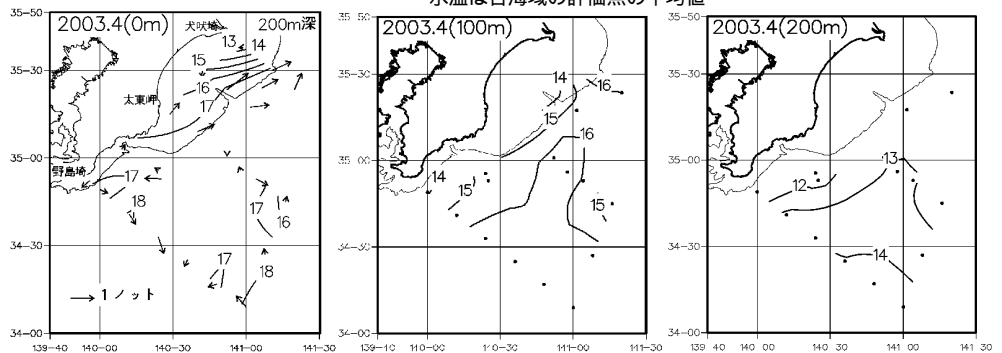


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

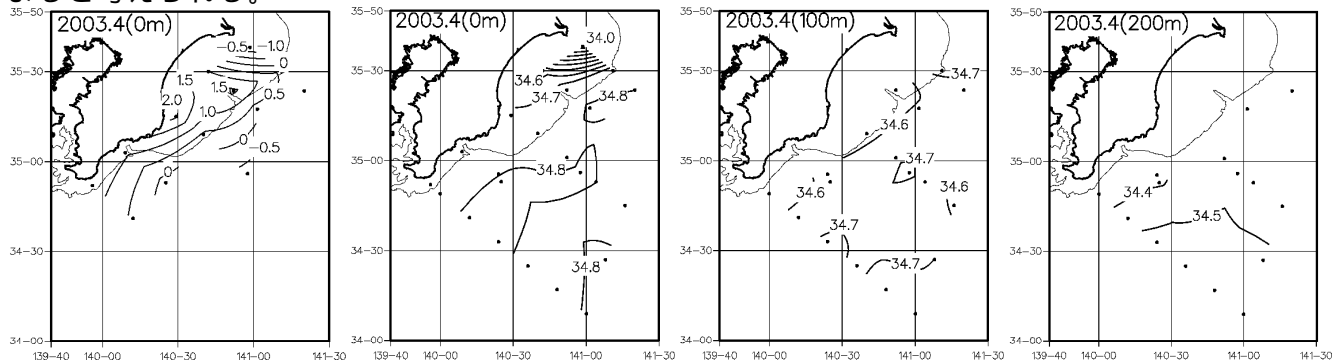


図3 水温の年平偏差

図4 塩分の水平分布

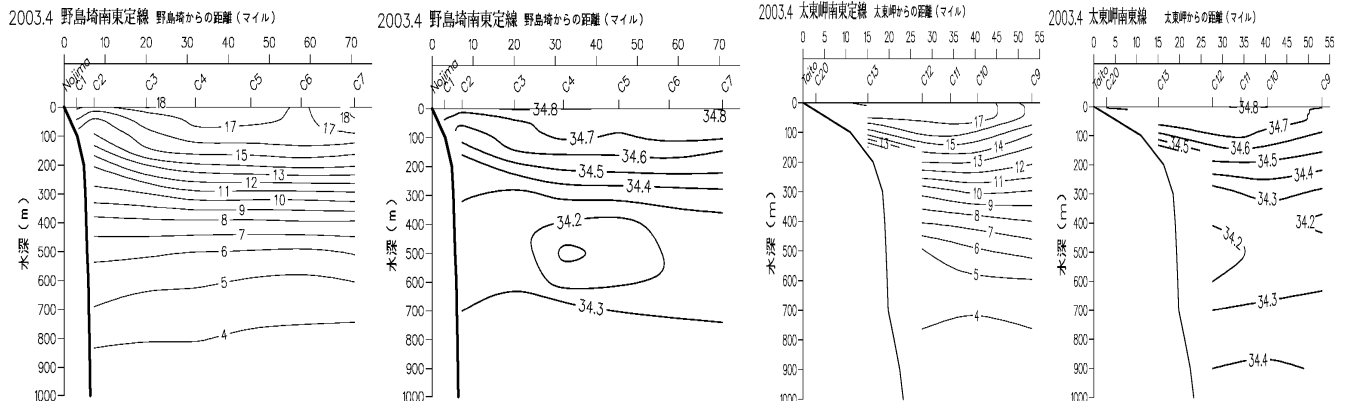


図5 水温と塩分の鉛直分布